

# 都市再生整備計画(第3回変更)

やまとがわ ちく  
大和川地区

にいがた いといがわ  
新潟県 糸魚川市

平成21年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	糸魚川市	地区名	大和川地区	面積	167 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度				

目標

大目標:美しく快適な住みよいまちづくり

- 目標1 良好な居住環境の形成による人口の定着
- 目標2 子供からお年寄りまで誰もが快適に暮らせる生活環境の創出
- 目標3 優良住宅地から公共公益・文教・医療福祉施設及び北陸新幹線糸魚川駅へのアクセス道路の整備による利便性の向上

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

○大和川地区全体

・糸魚川市総合計画において、市民生活重視の立場に立った市民参画による計画づくりや実施をすることで、市民と行政が一体となりまちづくりを進めるとされている。その基本目標の一つに「美しく快適な住みよいまちづくり」が位置づけられており、当地区は優良住宅の供給と良好な生活環境を創出するため広場や緑地を確保することを課題としている。さらに公営住宅再生マスタープラン（H3年度策定）では老朽化した公営住宅の計画的な建替を図ることとしている。

・大和川地域は、東西に細長く日本海に面し、背後には丘陵地が迫る狭隘な地形をなし、そこへ南北を分断する形で一般国道8号、JR北陸本線が通過し、さらに一般国道8号糸魚川東バイパスや北陸新幹線が新たに建設されつつある。このような状況から大和川地域の住民から良好な居住環境や快適に暮らせる生活環境の整備が要望され続けている。

・一般国道8号は朝の通勤時に慢性的な交通渋滞になっており、平成4年からバイパス建設に着手している。また合わせて県道西中・糸魚川線の道路整備が平成10年度から進められ、大和川地区と中心市街地を結ぶ幹線道路が整備されつつある。

○大和川地区東部

・南側地区は集落地域整備事業で創設された非農用地が宅地の受け皿になっているが、JR北陸本線北側の梶屋敷駅前周辺地区は新たな利用可能用地が少なく、住宅供給が十分とはいえない状況であり、居住環境の早期整備が求められている。

・梶屋敷駅前周辺地区においては、JR北陸本線梶屋敷駅・国道8号（バス路線）などの交通基盤施設が整備されており、梶屋敷商店街、郵便局、医院、保育園、交番等の生活基盤施設が整い、1つの街区を形成している。心の安らぎと豊かさを求め自然に触れようとする機運が高まり、市民主導型の運動として、「花いっぱい運動」が活発化しており、平成16年4月には都市緑化功労者新潟県知事表彰を受賞したところである。地域の伝統を受け継ぐ「梶屋敷伝統芸能保存会」が、立壁神社秋季大祭の一部である獅子舞と神輿の巡業を梶屋敷商店街通りを利用して行っている。さらに、加賀藩参勤交代の宿場本陣であったため、4年に一度盛大な「奴道中」を披露している。加えて、7月には地域の小学生などが神輿をかつぎ通りを練り歩くなど、地域コミュニティ活動が活発な地域である。

梶屋敷商店街の空洞化や少子高齢化が進むなか、良好な住環境を提供し地域活性化の一翼を担っていた公営住宅梶屋敷団地29戸が、老朽化により16戸を空家にせざるを得ない状況となっており、人口の減少が進行していることから、若者世帯も入居できるよう公営住宅と若者向け住宅の建設が強く望まれており、さらに「花いっぱい運動」などの活発な地域コミュニティ活動の場としての公園や進入路の整備も不可欠となっている。

○大和川地区中央部

・大和川南土地区画整理事業及び県・市営住宅田伏団地建替事業がそれぞれ平成15年度に完了し優良住宅・住宅の供給をしているが、糸魚川中心部（中心市街地）へのアクセス道路が十分ではない状況である。

・大和川南土地区画整理事業は組合により10.3haの区域で整備が完了しており、将来的には180戸の住宅建築が可能で、組合解散前に住みよいまちづくりのための建築協定が制定され、良好な住環境への気運が高まっている地域である。

・区画整理事業における平成15年の使用収益の開始から、1年間に保留地以外で9戸が建築され（建築中も含む）つつあり今後も大和川地区の中央部に位置していることから、公共事業の代替地としても宅地の需要が伸びていくことが予想される。

○大和川地区西部

・当市の保健医療の中核をなす糸魚川総合病院、スポーツや公民館活動のための多目的交流センター、公共下水道の浄化センターがすでに建設されており、大和川地区のみならず糸魚川市全体からの交通アクセス整備が強く望まれている。

課題

良好な居住環境の形成には、地域の風土に合った住宅の供給だけではなく、幅広い世帯が参加しやすいコミュニティ活動の場の提供、主要施設へのアクセス利便性向上等が課題である。

- ・幅広い年齢層の居住者同士が心の通った交流ができる公営住宅・若者向け住宅の型別供給。
- ・住宅基盤に加え住みよい生活環境創出のため、海辺の環境を利用したコミュニティ活動の場としての公園や地域コミュニティ通りの整備。
- ・東西連絡幹線道路（国道、県道、都市計画道路）の整備に合わせたアクセス道路の整備が十分でないため、大和川地区における利便性の向上。

将来ビジョン（中長期）

緑豊かで、快適な住居地域

・糸魚川市総合計画では地域の将来像として、農業との調和を保ちながら、土地の有効利用と都市機能の充実を図るとともに、生活環境の向上を目指し、地域の将来像を『緑豊かで、快適な住居地域』と位置づけられている。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 若年世帯率の増加	%	大和川地区東部の橿屋敷駅前周辺地区の全世帯数に対する30歳代(夫婦共)以下の世帯数の割合	幅広い年齢層の方が入居できるよう公営住宅及び若年世帯用の住宅を整備し、定住人口の増加に効果的な若者世帯の定住を目指す	8	平成16年度	10	平成20年度
2. 居住者数の減少率の抑制	%	大和川地区東部の橿屋敷駅前周辺地区の人口1年当りの減少率	より活発な地域コミュニティ活動が快適な生活環境を創出し、優良な居住基盤の整備により居住者数の減少を抑制する	2	平成16年度	0	平成20年度
3. アクセス時間の短縮	分	大和川中央部から糸魚川駅周辺(中心市街地)へのアクセス時間	北陸本線以南の道路網の整備によって、公共施設などへアクセスするための利便性の向上を目指す	9	平成15年度	5	平成20年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(人口の定着)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優良住宅を若者から高齢者まで幅広い年齢層へ提供するため、公営住宅及び年齢制限を設けた若者向け住宅を整備し、さらに構造を地域の風土に合った、入居者が交流しやすい低層住宅とすることにより快適な居住環境を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公営住宅整備事業(基幹事業)</li> <li>・若者向け住宅建設事業(提案事業)</li> </ul>
<p>整備方針2(生活環境の創出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のコミュニティ活動の場を提供し花いっぱいの輪を広げ良好な生活環境を形成するため、海辺に「梶屋敷花いっぱい公園」を整備する。</li> <li>・道路改良、修繕により子供からお年寄りまで安心、安全な道づくりを行う。</li> <li>・老朽化した地域の保育園舎を修繕改築し、子供の保育環境を改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梶屋敷花いっぱい公園整備事業(基幹事業)</li> <li>・(市)田伏竹ヶ花線(基幹事業)</li> <li>・(市)田伏高畑線(基幹事業)</li> <li>・(市)東山線(基幹事業)</li> <li>・(市)梶屋敷中道線(基幹事業)</li> <li>・大和川保育園(提案事業)</li> </ul>
<p>整備方針3(アクセス道路の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路管理者、河川管理者などの関係機関との協議により道路計画の作成後、地元関係者、地権者への説明会において事業の主旨説明と協力要請。</li> <li>・用地買収、物件補償を経た後、道路改良工事の早期実施に取り組み、工事完了後随時供用可能であれば、住民へ通過利用してもらうことにより、糸魚川中心部と大和川地区のアクセスによる利便性の提供を図る。</li> <li>・梶屋敷駅前地域と当公園を結ぶ連絡道路を、人・車が快適に通行できる「地域コミュニティ通り」として改良する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(市)桜ヶ丘中央線道路事業(基幹事業)</li> <li>・(市)JR大和川南線道路事業(基幹事業)</li> <li>・(市)万徳寺線道路事業(基幹事業) 地域コミュニティ通り</li> <li>・(一)国道8号糸魚川東バイパス建設事業(関連事業・国)</li> <li>・(県)西中・糸魚川線道路改良事業(関連事業・県)</li> </ul>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ活動 大和川地区における伝統行事の継承や、活発な地域コミュニティ活動を深めることにより快適な生活環境を創出し、人口の定着へ地域一体となって取り組む。</li> </ul>	

## 大和川地区（新潟県糸魚川市）整備方針概要図

目標	・美しく快適な住みよいまちづくり	代表的な指標	若年世帯率の増加 (%)	8 (H16年度) → 10 (H20年度)
			居住者数の減少率の抑制 (%)	2 (H16年度) → 0 (H20年度)
			アクセス時間の短縮 (分)	9 (H15年度) → 5 (H20年度)

